

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 3年 2月 1日

事業所名：こどもくらぶキジムナー

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 業務内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		・目的に応じて活用スペースを使い分けている。	・今後も継続して目的に応じて活用スペースを使い分けていく。
	2 職員の配置数は適切である	7		・子どもたちがいる時間帯に職員を手厚く配置している。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7		・2階にあるために完全なバリアフリーではないが、事業所内はバリアフリーである。	・階段に手すり、玄関に柵などを設置している
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		・日頃より衛生面(プラスチックラスタなど)に配慮し、子どもたちの視線に合わせた環境作りを行っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	6		・申し送り等で業務改善を進めるために話し合いを行っている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		・保護者向けのアンケートを共有し改善を図っている。	・今後も色々な活動を取り入れていく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			・今後も評価をホームページ上で公開していく。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5		・保護者種及び関係機関などから評価を頂いて業務改善につなげている。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		・順番で研修へ参加している	・資質向上のために事業所内・外の研修へこれからは参加していく。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		・日頃より、保護者及び関係機関などから情報収集し、計画を作成している。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		・専門書やインターネットの新しい情報を取り入れるようにしている。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7		・個々に応じた発達段階を理解し、ご家族と情報共有の中で支援を行っている。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		・支援会議などで統一した支援を図っている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	7		・チームで活動プログラムを決めている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		・専門講師を招いたりして、プログラムを工夫している。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6		・集団活動を主としながらも個々のペースを大事にして進めていくように計画している。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		・リーダー職員が中心となり、打ち合わせをして確認している。	午後出勤する職員が落ち着いて申し送りできる環境を整えていく。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		・職員間で情報共有を図っている。	・当日振り返りができないときは、後日振り返りをするようにしていく。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		・職員それぞれの視点を大事に記録し、話し合いを行うための時間を作っている。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7				
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	7		・全職員の意見をまとめてふさわしい者が参加している。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関と連携した支援を行っている	7		・必要に応じて市町村の児童発達支援センターと情報共有を図っている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3		・お迎えの際にしっかりと申し送りを聞くことに努め情報共有を図っている。	・医療ケアの対象となる児童がないために連携支援を図っていないが、対象となる児童が来所する際は連携支援を図っていく。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2		・主治医からの指示等を頂き、情報共有を図り連絡体制を整えている。	・医療ケアの対象となる児童がないために連携体制を図っていないが、対象となる児童が来所する際は連携体制を図っていく。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		・進学や進級へ向けてスムーズに移行できるように情報共有会議で申し送りをしている。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学校部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		・送迎の際に情報共有を図ったり、情報共有会議を実施している。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	4	・他事業所との情報共有会議を通して助言を受けたり、児童発達支援センターの助言を頂いている。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	2	・地域の児童館訪問するなど交流を図っている。	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加している	4	3	・市区町村の協議会などへ参加できる際はなるべく参加している。	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		・情報共有会議や送迎の際にその日の出来事を伝えている。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	1	・対応力向上を図るために保護者様のお話をよく聞いて、事業所での成功事例をお伝えしている。	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	1		
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		・いつでも相談が受けられることができるように体制を整えている。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	4		・保護者会を計画していたが、コロナが落ち着いてから来年度は時期を検討していく。 ・保護者同士の交流を図るために事業所のお部屋を開放することを検討している。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		・送迎時や電話などで保護者様の様子を聴き、迅速に助言を行うようにしている。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	・月の行事予定などを毎月配布している。	
	38 個人情報取扱いに十分注意している	7		・外部講師を呼んで事業所内研修を実施している。	・来年度の研修計画へ取り入れていく。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		・その子の特性を理解して接するように努めている。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	5	・コロナ禍によって地域住民を招待することはできなかったが、地域との関わり方も大切に(こどもたちも)している為、また知ってもらうために後の方へ作話を取るなどを行った。	・コロナが落ち着いた後、地域交流の方法を再度検討していきます。
	非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	1	
42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		7		・総合防災訓練を実施した。	・今後も非常災害発生に備え、定期的に避難、救出の訓練を実施していきます。
43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している		7		・連絡帳への服薬依頼と処方箋を頂くようにしている。	
44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		6	1	・食物アレルギーのある子へ食料を提供する際、心配なことがあれば保護者様へ確認している。	
45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		5	1	・情報共有を図っている。	
46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		6	1	・外部研修はもちろんの事、気になる子に対してはチェックを実施している。	・今後も来年度の研修計画へ取り入れていく。
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		5	2		・対象となる子どもはいないが対象となる子どもがいる場合は組織的に決定し、保護者の同意の上、計画に記載していく。

〇この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。